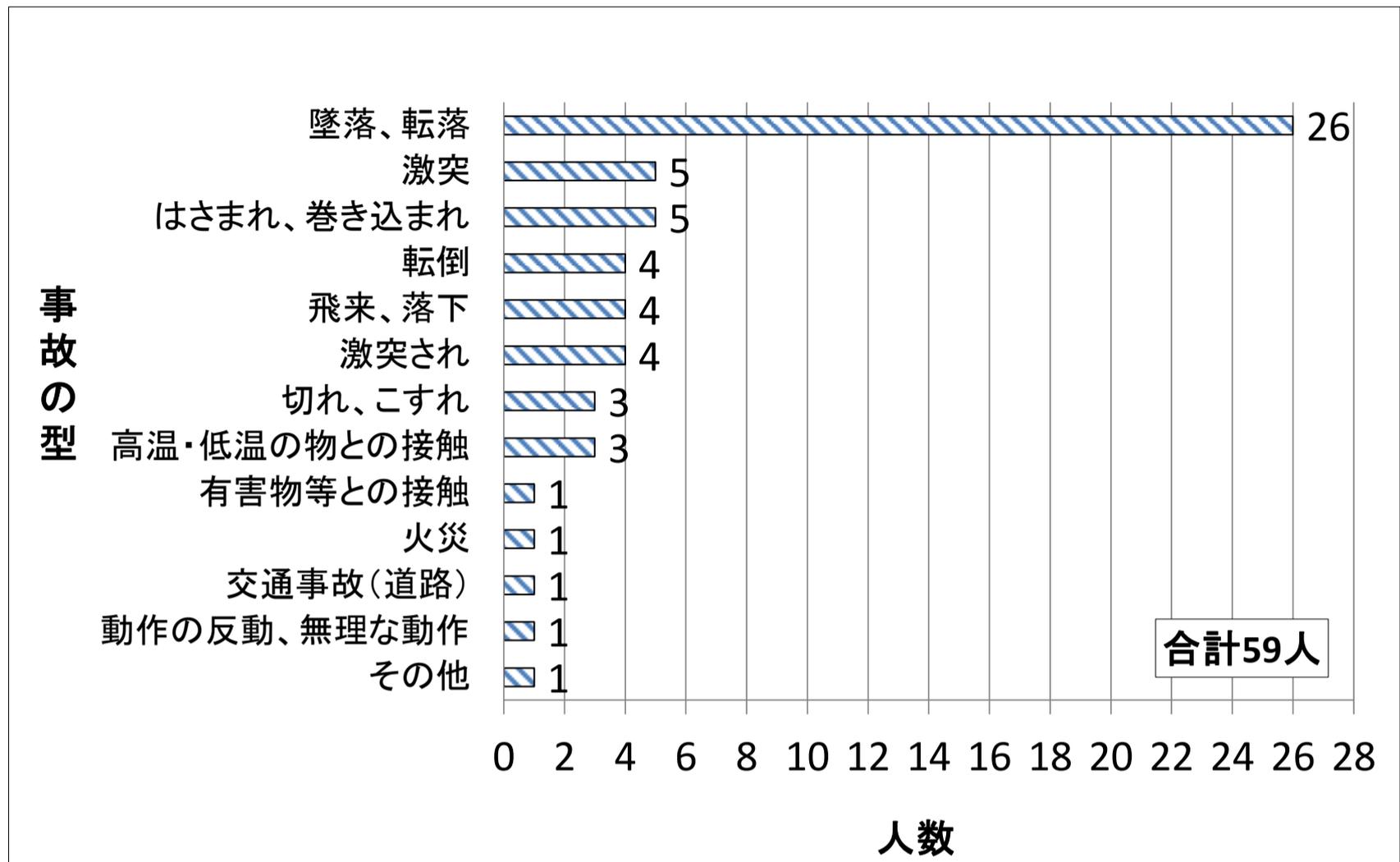


鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業の 労働災害の発生状況(27年1月～12月)

1. 災害の原因別

平成28年3月末(確定値)



- ①墜落・転落災害では、屋根等の建築物・構築物等から墜落したものが7件、足場から墜落したものが6件、はしご等から墜落したものが3件、エレベーターごと墜落したものが2件、開口部から墜落したものが2件発生したほか、玉掛用具によるもの、フォークリフト、トラック、乗用車、支保工、階段からの墜落がそれぞれ1件発生しています。
- ②激突災害では、脚立を踏み外したものの、移動中に側溝に激突したものの、脚立や荷台から飛び降り、着地時に負傷したものがそれぞれ1件発生しています。
- ③はさまれ・巻き込まれ災害では、移動式クレーンで荷下ろし作業中に手を挟まれたものが2件、解体用機械で廃材を積み込み作業中に手を挟まれたもの、鉄板を加工中にプレス機に指を挟んだもの、手工具で手を叩いたものがそれぞれ1件発生しています。
- ④転倒災害では、雪が積もった敷鉄板上で滑って転倒したものの、踏み台から雪上に降りたところ転倒したものの、トラックの荷台の積荷に登ろうとして転倒したものの、脚立から飛び降りた際に配管突起に乗り上げて転倒したものがそれぞれ1件発生しています。
- ⑤飛来・落下災害では、型枠材の荷下ろし中に落下したコンパネで肩を負傷したものの、落下してきた氷で腰を負傷したものの、足場上の足場材が落下したものの、クレーンで吊り上げた鋼材が落下したものがそれぞれ1件発生しています。
- ⑥激突され災害では、旋回した掘削用機械に接触したものの、ハンドローラーに轢かれたもの等が発生しています。
- ⑦切れ・こすれ災害では、丸のこによるもの、デッキプレートを敷き込み中に手を負傷したものの、ベビースァンダーの刃が引っかかり手首にあたったものがそれぞれ1件発生しています。
- ⑧高温・低温の物との接触では、熱中症が2件、機器の不具合で突然可燃性ガスに引火したものが1件発生しています。
- ⑨有害物等との接触では、コンクリート打設中に長靴の中にコンクリートが入り化学熱傷となったものが1件発生しています。
- ⑩火災では、寄宿舎の管理人室で就寝していた被災者が逃げ遅れたものが1件発生しています。(死亡)
- ⑪交通事故(道路)では、凍結路面でスリップし対向車に衝突したものが1件発生しています。
- ⑫動作の反動、無理な動作では、古タイヤを持ち上げた際に腰を痛めたものが1件発生しています。
- ⑬その他では、長時間労働等により精神疾患を発症したものが1件発生しています。(死亡)

2. 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業の災害事例(同種災害が多く発生している事例等を例示)

事故の型	起因物	災害の概要
墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	鉄骨建方作業中、片側のみボルト固定されていた梁材に足を乗せた際、梁材が外れ鉄骨上から墜落した。親綱設備、水平ネットとも設置されておらず、安全帯も使用していなかった。
墜落、転落	足場	足場板が固定されていない外部足場上で型枠材を取り外していたところ、足場板が足場枠から外れ、1階土間に墜落し、肩を負傷した。
墜落、転落	開口部	デッキプレートの敷き込み作業中、立ちくらみによりバランスを崩してネットが設置できない開口部から墜落した。親綱は設置していたが、安全帯を使用していなかった。
墜落、転落	はしご等	壁の配筋を施工後、脚立から前向きに降りたときに墜落し、足を負傷した。
墜落、転落	トラック	トラックにH型鋼を積み込む作業中、荷台のあおりの上を歩いていたところ、バランスを崩し、路面に墜落し、足と腰を負傷した。
はさまれ、巻き込まれ	移動式クレーン	移動式クレーンで材料を降ろす際、材料の下に置く端太角がずれていたためとっさに手を出してしまい手を挟まれた。
転倒	その他の環境等	現場内の敷鉄板上を移動中、積雪で滑り、転倒し肘を負傷した。
飛来、落下	クレーン	重なったH鋼の下のH鋼をクレーンで吊り上げたところ、もう一方のH鋼がバランスを崩し落下した。
激突され	締固め用機械	ハンドローラーを使用して後進しながら舗装端部の転圧を行っていたところ、足を滑らせてつま先からローラーに轢かれた。
切れ、こすれ	金属材料	デッキプレートの敷き込み作業中、相方の労働者と横に移動させていたところ、デッキプレートの端部が手に当たり負傷した。
切れ、こすれ	研削盤、バフ盤	塩ビ管を研磨中、塩ビ管に刃がひっかかり、ベビーサンダーが手首にあたった。
有害物等との接触	その他の材料	コンクリート打設中、跳ね返ったコンクリートが長靴の中に入ったが、作業を続けたところ、化学熱傷となった。